

平成7年度（1995年度）

1. シンポジウム

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成8年 1月19日 (金) 参加者 189名	『肥満症研究の最前線－脂肪組織の分子生物学－』 －演題－ ・脂肪細胞の分化・増殖の制御 ・培養脂肪細胞の増殖と分化：球形の脂肪細胞も増殖する ・アポEリポ蛋白レセプターと脂質代謝 ・肥満遺伝子（ob遺伝子） ・Adipocytokine分泌臓器としての内臓脂肪組織	大阪大学医学部 教授 松澤 佑次 －講師－ 京都大学農学部 助教授 河田 照雄 佐賀医科大学医学部 教授 杉原 甫 東北大学遺伝子実験施設 教授 山本 徳男 京都大学医学部 教授 中尾 一和 京都大学医学部 助手 細田 公則 大阪大学医学部 助手 舟橋 徹

2. セミナー

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成7年 6月9日(金) 参加者 196名	『癌浸潤・転移』 －演題－ ・ヒトがんの浸潤・転移の病理と分子機構 ・転移におけるCD44・VLAインテグリンの役割－リセプター・リガンド対応と細胞内情報伝達－ ・マトリックスメタロプロテアーゼと浸潤・転移 ・HGFによる癌細胞の浸潤誘導と宿主・癌相互作用 ・ERM蛋白質と細胞運動およびシグナル伝達 ・Rho低分子量G蛋白質の機能と作用機構	京都大学医学部 教授 月田承一郎 金沢大学がん研究所 教授 清木 元治 －講師－ 国立がんセンター研究所 副所長 廣橋 説雄 東京都臨床医学総合研究所 研究員 反町 典子 金沢大学がん研究所 教授 清木 元治 大阪大学医学部 教授 中村 敏一 京都大学医学部 教授 月田承一郎 大阪大学医学部 教授 高井 義美
9月29日 (金) 参加者 151名	『糖尿病をさぐる』 －演題－ ・インスリン分泌から眺めて ・インスリン抵抗性から眺めて ・膵島炎とI型糖尿病 ・運動療法の役割 ・ライフスタイルと内臓脂肪型肥満	大手前病院 病院長 垂井清一郎 －講師－ 京都大学医学部 助教授 清野 裕 滋賀医科大学 講師 柏木 厚典 大阪大学医学部 講師 花房 俊昭 徳島大学医学部 教授 島 健二 市立伊丹病院 部長 徳永 勝人
10月27日 (金) 参加者 154名	ブレインサイエンスシリーズ 第8回 『グリア細胞の最前線－病態との関連－』 －演題－ ・中枢のミエリン膜はどのようにして形成されるか ・アストロサイト－ニューロンおよび内皮細胞への働きかけ－ ・ミエリンプロテオリピド蛋白質遺伝子発現異常とミエリン形成異常 ・グリア細胞におけるストレス応答の分子メカニズム－虚血、損傷モデルを用いて－ ・アストロサイトのシグナル伝達－その活性化と遅発性グリア細胞死	大阪大学医学部 教授 遠山 正彌 －講師－ 慶應義塾大学医学部 講師 阿相 皓晃 名古屋市立大学医学部 教授 加藤 泰治 岡崎国立共同研究機構生理学研究所 教授 池中 一裕 大阪大学医学部 助教授 和中 明生 大阪大学薬学部 教授 馬場 明道

	<ul style="list-style-type: none"> グリア細胞の脳内機能と神経疾患 	国立精神・神経センター神経研究所 部長 高坂 新一
平成8年 2月16日 (金) 参加者 349名	『細胞周期とアポトーシス』 — 演題 — <ul style="list-style-type: none"> 癌抑制遺伝子と細胞周期 TGF-βシグナル伝達系を制御する Novel Players チロシンキナーゼからのシグナル伝達と細胞周期調節 アポトーシスを起こす細胞周期変異株 Bcl-2ファミリーとICEファミリーによるアポトーシスの制御 Fasを介したアポトーシス 	大阪大学医学部 教授 大阪バイオサイエンス研究所 部長 長田 重一 大阪大学微生物病研究所 教授 秋山 徹 — 講師 — 大阪大学微生物病研究所 教授 秋山 徹 名古屋大学理学部 教授 松本 邦弘 東京大学医科学研究所 教授 山本 雅 九州大学大学院医学系研究科 教授 西本 毅治 大阪大学医学部 教授 辻本 賀英 大阪大学医学部 教授 大阪バイオサイエンス研究所 部長 長田 重一

3. 千里ライフサイエンス技術講習会

開催日	テーマ・演題	コーディネータ・後援企業
第6回 平成7年 5月24日 参加者 46名	『Life Science における光学顕微鏡利用技術』 — 演題 — <ul style="list-style-type: none"> 光学顕微鏡の基礎とビデオコントラスト増強法 細胞内カルシウムイオン濃度測定法 膜電位の光学的多チャンネル同時測定法 	大阪大学細胞生体工学 センター長 松原 謙一 — 後援企業 — 株式会社ニコン 大瀧 達朗 浜松ホトニクス(株) 片岡 卓治 構内 毅

4. 新適塾

(1) 千里神経懇話会

開催日	テーマ	世話人
第6回 平成7年 4月19日 参加者 80名	『虚血研究の最前線』 — 演題 — <ul style="list-style-type: none"> 培養アストロサイトを用いた低酸素ストレスの研究 低酸素・再酸素化により発現誘導される新規遺伝子の検索 一過性前脳虚血により誘導される遺伝子の探索 ラット網膜虚血再灌流モデルにおける神経伝達物質トランスポーターの解析 	大阪大学医学部第1内科 小川 智 — 講師 — 小川 智 大阪大学医学部第2解剖、第1内科 分子脳機構、脳神経外科 松尾 徳幸、小川 智、今井 祐二 高木 勉、山下 俊英、田村 英二 早川 徹、和中 明生 大阪大学医学部分子脳機構 津田 学、今泉 和則、和中 明生 高木 勉 大阪大学医学部眼科、第2解剖 サントリー生物有機科学研究所 大鳥 安正、森村 浩之、堺谷 政弘 島田 昌一

<p>第7回 6月23日 参加者 79名</p>	<p>『神経変性とその修復の分子機構』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・培養脳スライスにおけるニューロンの変性 ・神経細胞のプログラム細胞死に関する遺伝子の単離と発現解析 ・Differential Display法による神経再生関連遺伝子としてのラットニューロン型グルタミン酸トランスポーター(EAAC1)のクローニング ・ラット内耳破壊モデルにおける前庭代償メカニズムの検討 	<p>— 講師 — 塩野義製薬(株) 創薬第二研究所 病態薬理部門 阪口 卓也、岡田 誠剛、篠原 俊次 久野 宗 川崎 和夫</p> <p>大坂大学医学部分子脳機構講座 今泉 和則、津田 学、今井 祐二 高木 勉</p> <p>大阪大学医学部バイオメディカル教育 センター 神経機能解剖学研究部 桐生寿美子、姚 桂欄、守田 直規 加藤 英政、木山 博資</p> <p>大阪大学医学部耳鼻咽喉科 バイオメディカル神経解剖 北原 紘、武田 憲昭、久保 武 木山 博資</p>
<p>第8回 8月4日 参加者 73名</p>	<p>『神経発生分子メカニズム』—その1— — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大脳皮質遠心性投射の形成機構 ・神経発生における制御遺伝子ネットワークの生物種間保存性 ・LIM-homeodomain遺伝子ファミリーの単離と胎生期神経系における相補的発現 ・神経細胞分化に関与する未知遺伝子の単離と解析 	<p>— 講師 — 大阪大学基礎工学部 生物工学科 山本 亘彦</p> <p>奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 梅園 和彦</p> <p>大阪大学医学部 解剖学第二講座 松本 和政、古山 達雄、柏原 保世 和中 明生</p> <p>大阪大学医学部 分子脳機構講座 解剖学第二講座 佐藤 直也、鈴木 豊、和中 明生 高木 勉</p>
<p>第9回 10月6日 参加者 72名</p>	<p>『神経発生分子メカニズム』—その2— — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終脳セグメント特異的細胞接着分子テレンセファリン ・大脳皮質一橋路形成関連因子の検索 ・HIV-Tat結合蛋白質の形態学的、分子生物学的検討—発生学との接点— ・コラプシンファミリーの単離と脳内分布 	<p>— 講師 — 大阪バイオサイエンス研究所、 大阪医科大学医化学教室 吉原良 浩資</p> <p>大阪市立大学医学部 第一解剖 佐藤 真、高見 俊宏</p> <p>大阪市立大学医学部 第一解剖 中村 敬弘、田中 智章、佐藤 真</p> <p>大阪大学医学部 保健学科生体情報 稲垣 忍、古山 達雄、岩橋 佳子</p>

<p>第10回 平成8年 1月26日 参加者 71名</p>	<p>『痛覚の分子メカニズム』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 5-HTによる発痛と痛感過敏のメカニズムの検討 ラット後根神経節におけるサブスタンスP、CGRP、ソマスタチンの共存とNGF依存性について・・・ISH法による検討 Estrogenと疼痛(第1報)・・・各種疼痛検定と、フェルマリンによるc-fos発現に対するovarectomyの影響について 一次求心性知覚ニューロンにおけるサイトカイン受容体情報伝達分子の局在 疼痛・ストレス時に発現する中枢由来サイトカインCINCの動態 神経ペプチド発現に対する軸策切断の影響 各種臨床病態における神経ペプチド発現動態 	<p>— 講師 —</p> <p>和歌山県立医大 第二解剖 徳永 敦、土井みさこ、大西 恵理 仙波恵美子</p> <p>関西鍼灸短大 生理 榎葉 均 和歌山県立医大 第二解剖 仙波恵美子</p> <p>和歌山県立医大 第二解剖 大西 恵理、大田 晃子、仙波恵美子</p> <p>大阪大学医学部 第二解剖 金銅 英二、遠山 正彌</p> <p>大阪歯科大学 歯科麻酔科 水野 誠 大阪大学医学部 麻酔科 西村 光弘 大阪大学医学部 バイオ神経解剖 木山 博資</p> <p>大阪大学医学部 バイオ神経解剖 木山 博資</p> <p>大阪大学医学部 産婦人科 松本 敬子、小池 浩司、三宅 侃 兵庫医科大学 第二解剖 野口 光一、三木 健司</p> <p>大阪大学医学部 麻酔科 福岡 哲男 兵庫医科大学 第二解剖 小堀幸太郎、三木 健司、野口 光一 整形外 橘 俊哉 麻酔科 谷本 賢明 耳鼻咽喉科 毛利 大介</p>
--	--	--

(2) 21世紀の薬箱

開催日	テーマ・演題	世話人・講師
<p>第1回 平成7年 7月27日 参加者95名</p>	<p>発会にあたって</p> <p>『研究支援環境としてのインターネット』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物情報処理とインターネット ～大坂大学における研究・教育環境～ 大坂大学遺伝情報実験施設におけるコンピューター・ネットワーク利用の実際 	<p>— 発起人 —</p> <p>大阪大学薬学部 教授 真弓 忠範</p> <p>— 世話人 —</p> <p>大阪大学薬学部 教授 那須 正夫</p> <p>— 講師 —</p> <p>大坂大学情報処理教育センター 助教授 中西 通雄 大坂大学遺伝情報実験施設 助教授 安永 照雄</p>
<p>第2回 10月12日 参加者 57名</p>	<p>『新しい創薬標的：細胞内蛋白-蛋白、蛋白-遺伝子シグナル伝達』 — 演題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞内蛋白-蛋白シグナル伝達 <ul style="list-style-type: none"> 1) 低分子量G蛋白による細胞内シグナル伝達機構 2) エンドセリン情報伝達-チロジリン酸化系の機能 蛋白-遺伝子シグナル伝達 <ul style="list-style-type: none"> 1) 創薬標的としての胃のGATA-DNA結合蛋白質 2) 脳内転写制御因子を指標とする創薬戦略への誘い 	<p>大阪大学薬学部 教授 馬場 明道</p> <p>— 講師 —</p> <p>大坂大学医学部 分子生理学 講師 田中 一馬</p> <p>大坂大学薬学部 薬理学 助手 小山 豊</p> <p>大坂大学薬学部 生物薬品化学 教授 前田 正知</p> <p>摂南大学薬学部 薬理学 助教授 米田 幸雄</p>

<p>第3回 平成8年 1月24日 参加者74名</p>	<p>『老化とくすり』 — 演題 — ・老化とくに脳の老化病態と薬の作用 ・骨そしょう症とくすり ・神経細胞におけるプログラム細胞死 — β-アシロイドとの関連性について ・脳血管障害とくすり</p>	<p>大阪大学薬学部 教授 馬場 明道 — 講師 — 北海道大学薬学部 薬効学 教授 野村 靖幸 摂南大学薬学部 薬理学 教授 小井田雅夫 住友製薬(株)総合研究所 伊藤 彰 武田薬品工業(株) 創薬第1研究所 寺下 善一</p>
<p>第4回 3月15日 参加者53名</p>	<p>新しい治療戦略(1) 『細胞性製剤による夢の治療の実現に向けて』 — 演題 — ・膜融合リポソームの開発と遺伝子治療への応用に関する研究 ・遺伝子導入細胞を用いた糖尿病の遺伝子治療への取り組み ・動物細胞の固定化法と人工臓器への応用</p>	<p>大阪大学薬学部薬剤学 教授 真弓 忠範 大阪大学薬学部薬剤学 助手 中川 晋作 — 講師 — 大阪大学薬学部薬剤学 水口 裕之 徳島大学医学部臨床分子栄養学 森谷 真紀 京都大学生体医療工学研究センター 森川 訓行</p>
<p>第5回 4月26日 参加者48名</p>	<p>新しい治療戦略(2) 『分子レベルでの生命現象の解明と創薬科学』 — 演題 — ・生体防御機構を担うInterleukin-12の抗腫瘍サイトカインとしての可能性 ・Thrombopoietinの巨核球・血小板造血における役割と臨床応用の可能性 ・ハイブリッド化サイトカインの分子設計と薬物治療の最適化</p>	<p>大阪大学薬学部薬剤学 教授 真弓 忠範 — 講師 — 大坂大学医学部バイオメディカル教育研究センター 藤原 大美 キリンビール(株)医薬探索研究所 宮崎 洋 大坂大学薬学部 堤 康央</p>

5. 調査研究

テ ー マ	期 日
北大阪におけるライフサイエンスの振興調査(国際文化公園都市(株)委託調査)	平成8年1月

6. 千里ライフサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネータ：国立循環器病センター名誉総長 尾前 照雄氏

開催月日	テーマ・演題	座長・講師
<p>第13回 平成7年 7月15日 参加者 164名</p>	<p>『健康診断と人間ドック』 — 演題 — ・開催にあたって ・循環器病予防のための自己管理法— 健康診断により己を知る — ・脳の老化とライフスタイル ・これからの「がん検診」と人間ドック</p>	<p>尾前 照雄、岡田 善雄 — 講師 — 岡田 善雄 愛媛大学医学部公衆衛生学教室 教授 小西 正光 島根医科大学 教授 小林 祥泰 愛知県健康づくり振興事業団 副理事長 唐澤 和夫</p>

第14回 11月11日 参加者 85名	『健康に役立つ放射線』 — 演題 — ・開催にあたって ・X線発見100年を記念して ・レントゲン医学の発足 ・がんの放射線診断と治療 ・画像で見る脳のはたらきとボケ	尾前 照雄、小塚 隆弘 — 座長 — 石田 修、河野 通雄、小野山 靖人 — 講師 — 岡田 善雄 近畿大学医学部 教授 石田 修 大阪市立大学 名誉教授 玉木 正男 国立京都病院 院長 阿部 光幸 福井医科大学 教授 米倉 義明
第15回 平成8年 3月9日 参加者 150名	『ライフスタイルと健康管理』 — 演題 — ・開催にあたって ・ライフスタイルと成人病 ・ヒトはなぜこんな病気になるのか ・ほんとの快老期を迎えるために	尾前 照雄、岡田 善雄 — 講師 — 岡田 善雄 九州大学医療技術短期大学 教授 上田 一雄 大阪市立大学医学部 教授 荻田 幸雄 京都大学 名誉教授 大島 清

7. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	講演テーマ	講師名(所属)
33回 平成7年 4月12日 参加者45名	『東洋医学から見た健康と長寿』	東洋医学研究所 所長 松本 克彦
34回 5月26日 参加者30名	『縄文社会のイメージ』 —比較民族学的考察—	国立民族学博物館 教授 小山 修三
35回 6月23日 参加者29名	『人にやさしい繊維』	東洋紡績(株)総合研究所 技監 原田 隆司
36回 7月21日 参加者42名	『インターネットが作り出す新しい世界』	TWIN SUN INC社 社長 松尾 正信
37回 8月18日 参加者52名	『将軍吉宗の象』	大阪府立近つ飛鳥博物館 館長 関西大学文学部 教授 大庭 脩
38回 9月20日 参加者49名	『現代科学者の心構え』 ～不作の時こそ、 夢と長期展望を～ [KRFとのジョイントフォーラム]	元京都大学 総長 西島 安則
39回 10月18日 参加者40名	『京都を中心に同心円を描く方言』	朝日放送(株)テレビ制作局 チーフプロデューサー 松本 修
40回 11月17日 参加者26名	『眼と手はどれだけ親しいか?』	大阪大学健康体育部 教授 笠井 健
41回 12月11日 参加者30名	『東大寺に在りて思う』	東大寺持寶院・大仏殿 主任 上司 永慶
42回 平成8年 1月26日 参加者40名	『子年のユーモア』	池田銀行 代表取締役頭取 清瀧 一也
43回 2月14日 参加者41名	『植物と将来に生きる』	奈良先端科学技術大学院大学 教授 山田 康之
44回 3月21日 参加者27名	『物づくりと文化』	大阪大学工学部 教授 岩田 一明